



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後6：00

2020年12月号ブリテン 第363号

2020-2021年度主題(Theme)

会長 立田 佳明
副会長 菰 光彦
書記長 津 徹
会計 柴田 弘子
直前会長 小山 久恵
担当主事 大津 桃子

Our Motto 国際標語
国際会長 Jacob Kristens
アジア太平洋会長 David Lua
東日本区理事 板村 哲也
あずさ部部長 御園生 好子
サンライズ会長 立田 佳明

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP」(デンマーク)
「Make A Difference」(シンガポール)
「変化をたのしもう！」(東京武蔵野多摩)
「変わるに挑戦！」(東京サンライズ)
「変えよう！変わろう！ワイズと共に」

12月第一例会のお知らせ

とき 12月19日(土曜日) 17:30~
ところ 四川料理福満苑「鼓楼」
かいひ 5,000円
とうばん (参観)御園生、飯野、大谷、菅原、中馬、松本

◆プログラム

開会点鐘
ワイズソング・ワイズの信条
会長挨拶
ゲスト・ビジターの紹介
協議・報告・連絡事項
ハッピーバースデー
年末納会
にこにこ・一分間スピーチ
閉会点鐘

例会
の中
心
と
す
る
た
め

会長
胸の裡
会長
会長
会長・各担当
会長
一同
出席者全員
会長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で

1月以降の予告

1月14日(木) 第一例会 山手センター 17:00~
◇予定です。状況により日程の変更も有ります。
1月26日(火) 第二例会 山手センター 17:00~
◇予定です。状況により日程の変更も有ります。
2月11日(木) 第一例会 山手センター 17:00~
2月23日(火) 第二例会 山手センター 17:00~

11月第一(ハイブリッド)例会の報告

小山憲彦

11月12日(木)17:00より、山手センターで今月もハイブリッドで第一例会が行われました。

Zoomの設定に大津主事が悪戦苦闘し、開始が少々遅れての開会となりました。大津さんお疲れ様でした。

立田会長の開会点鐘に続き、ワイズソング、ワイズの信条を唱和し、ビジターで東京八王子クラブの久保田さんが紹介されました。

卓話がないので、出席者全員が「私はなぜワイズに入ったか」という題でワイズへの入会動機、ワイズで感じたことなどを発表しました。

入会動機は、YMCAのリーダーだった、先輩に誘われて、元リーダーから強く勧められて、親の指示など。【次頁へ続く】



12月のハッピーバースデー

5日 大津 桃子 さん
19日 内迫 裕 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

11月例会出席者

在籍 (内広義会員 3名) 19名
メン 12名
メネット・コメント 1名
ゲスト・ビジター 1名
出席率 80%

●11月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg)

●ニコニコ：0円(累計：5,714円)

●プルタブ：0.0kg(累計：0.0kg)

本当は最初からサンライズに入るつもりが、なぜか回り道してしまっただけ。卓話をしに来たら絡め捕られた。教会の知人に勧められて、メネットからメンバーに。などなど。

みんなサンライズにいたることができてよかった…と。

第二例会もハイブリッドで、来れる人は山手センターに、難しい人はZoomで参加することになりました。

「本音で語ろう会」はいつも通り伊丹亭で繰り広げられました。やっぱり対面はいい～な。

出席者：立田会長、飯野、江原、小山(憲)、小山(久)、菺淵、御園生、大津主事

Zoom：大谷、菅原、長津、久保田さん(東京八王子)

11月第二例会報告

小山憲彦

11月24日(火)17:00より、山手センターでハイブリッドで第二例会が行われました。

立田会長の開会点鐘に続き、ワイズソング、ワイズの信条を唱和しました。

今回は、12月例会についての話し合いがもたれました。通常第一例会は東京YMCA山中湖センター主催の「地域の子どものためのクリスマス」のお手伝いと、山中クリスマスに併せて富士五湖クラブとの合同例会なのですが、今年はコロナ禍を心配する保護者の希望で山中クリスマスが中止となり、山中湖センターに出向かなくなったため合同例会も中止となりました。第一例会を10日の第2木曜日、第二例会はお散歩なので19日(土)にしようかとの案が出ました。今年はお散歩だから、第一と第二と一緒にやって、第二のお散歩の後の年末納会を第一例会にしたらどうかとの案が出て、協議の結果、今月の例会は一回にしようということになりました。お散歩は行うことにして、菺淵さんの提案で、都営浅草線の高輪台駅から二本榎通りを名所、旧跡を巡りながら田町駅へ、線路を越えて新芝運河沿緑道を戻り、今度は線路をくぐり高輪ゲートウェイ駅へ向うことになりました。行程約5kmです。

夕方5時頃を目途に、要町の四川料理福満苑「鼓楼」で12月例会/年末納会を開催します。担当は長津さん。

本日の打ち合わせはここまでで、いつもの通り伊丹亭での本音で語ろう会に臨みました。

出席者：立田会長、飯野、江原、小山(憲)、菺淵、柴田、御園生、大津主事

Zoom：大谷、菅原、長津・絹子メネット

あずさ部部长公式訪問 東京武蔵野多摩

御園生好子

11月11日(水曜日)東京YMCA西東京コミュニティセンターに於いて

東京武蔵野多摩クラブの部長公式訪問に出席しました。

会場の都合上、三密を防ぐため公式訪問は私一人の参加になりました。

東京多摩みなみクラブの田中博之さんがカメラを持参してきれいな画面のハイブリッド例会になりました。

6月以来 顔を合わせての例会は無かったということで渡辺大輔会長の初めての開会点鐘は鐘のネジが緩んでいてきれい

に鳴らずズッコケルという笑いで始まった楽しい例会でした。

卓話は全国フードバンク推進協議会事務局長の米山広明さんの食品ロス、子供の貧困、フードバンク活動の紹介等についてでした。YMCAはフードバンクに協力している所も多いので皆さん熱心に聞き入っていました。

例会後も米山さんに質問したりアドバイス等いただいたりしている方もおられました。

私は例会後は懇親会にお誘いいただき、久しぶりに楽しい夜を過ごしました。

甲府21クラブ30周年記念例会

小山久恵

11月14日(土)、甲府の岡島ローヤル会館にて11時から15時まで開かれました。久しぶりのリアル例会でしたが、コロナ対策はしっかりなされ、内容も盛り沢山でした。

甲府市長、板村理事、露木山梨YMCA総主事の祝辞があり、チャーターメンバーの駒田さんが、30年間例会皆勤賞で、表彰されました。

その後、2名の入会式があり、御園生部長も立会人になりました。会員増強が叫ばれている中、甲府21クラブには、入会者が次々と現れます。

記念公演はチャーターメンバーの葉袋さんによる「ある感染症に勝利した甲府盆地の人々」のお話でした。

記念撮影の後、オーストラリアのアデレードクラブとのIBC締結式がありました。Zoomで、オーストラリアと日本を結び、何の不都合も無く、予定通りに式が進んでいきました。

無事IBC締結が終わり、懇親会では、親クラブの甲府クラブ標会長の乾杯、御園生あずさ部長とDBC草津クラブ一井会長から祝辞、佐藤実行委員長の感謝の言葉で、終了となりました。



【ZoomによるIBC締結式。】

会が終わった後、希望者が、新装なった山梨YMCAの見学に出向き、スタッフに案内していただきました。

時間は早かったのですが、二次会には行かず、真っ直ぐ帰宅しました。

会費納入のお願い

○三井住友銀行 恵比寿支店 普通口座：6762355

○口座名 東京サンライズワイズメンズクラブ

ひよこのつぶやき

今月は休載します

YMCA News

山手センター 大津桃子さん

1. 「第34回インターナショナル・チャリティーラン」は、初の試みとしてスマートフォンのアプリを利用したウォーキングイベントとして開催しました。山手チームとしては、1チーム20名で構成し、ボランティアリーダー、山手学舎生、プログラム参加者の保護者、会員、ワイズメンズクラブ、スタッフと沢山の方にご参加いただきました。サンライズからは、菰光彦氏にご参加いただきました。

10月10日から11月1日の期間中、本大会、プレイイベント合わせて総勢1,213人が参加し、参加者が歩いた総歩数は約9,000万歩、距離にして約6万km(約地球1周半分)となりました。益金4,389,500円は、YMCAが主催する障がいのある子どもたちを支援するプログラムのために用います。山手センターからは、サンライズ、たんぼぼYサービス、西のワイズメンクラブ、学舎後援会、保護者からの参加費、味の素からのご寄付のドリンク販売の収益で120,000円を集めました。ご支援、ご協力ありがとうございました。

2. 「山手のまつり」の代わり

コロナ感染拡大予防のため、例年通りの山手のまつりの代わりにラッフルチケット販売をしました。

11月9日(月)～11月28日(土)の3週間に渡って、1枚100円のチケットを1124枚販売することができました。240名余りの方が購入してくださり、サンライズのみなさまもご購入いただきありがとうございました。熊本豪雨災害支援とボランティアリーダー養成の募金に各56,200円ずつ、用います。

感謝してご報告いたします。

3. 冬プログラム

感染拡大の傾向にあります。現時点では宿泊キャンプ(スキー含む)4本、プールスクール2本と短期水泳を実施します。コロナ渦にあってもできることを少しずつ、勇気を持って最大限の注意を払って安全に運営して参ります。

東日本区 Change! 2022

会員増強委員会

ワイズ100周年、東日本区30周年に向けて、東日本区では設立時の会員数1,246名を回復すべく区を挙げて会員増強に取り組んでいます。Change! 2022推進委員会ではこの度、アニバーサリー・プレゼント・キャンペーンとして2022年12月までに周年を迎えるクラブに対して、各メンバーが自分の知人・友人を紹介して会を盛り上げるお手伝いをするを始めました。どこかのクラブの近くの方をぜひそのクラブで紹介することを心がけてください。

理事通信

第6号

2020年12月1日発行

東日本区理事 板村哲也

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。

山中湖センターだより

山中湖センター副所長 本多良章さん

12月に入り最低気温が0度を下回る日が増えてきました。つい先日までは紅葉で赤・黄・緑色が入り混じり色鮮やかだった木々は、葉が落ち物寂しい様子に変わっています。今年は誠に残念ながらコロナの影響を鑑みクリスマス会は中止となり、気分が少し沈んでおりましたが、皆様からの暖かいメッセージが込められたクリスマスカードをいただき、スタッフ一同元気が出ました。来年こそは素敵なクリスマス会を皆様と出来ることを願っております。これから寒さが本格的になってまいります。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

強調月間：EMC-MC

会員増強委員会

MCとは、Membership & Conservation つまり、会員増強と維持啓発を指します。会員増強はワイズの永遠の課題であり、クラブを維持するも発展させるも、一に会員増強にかかっています。新入会員を誘うには、自分のクラブライフが楽しくなければ誘えません。そのためには常に会員意識を啓発し、高揚を図り、充実した楽しいクラブライフと奉仕活動を心がけ、友人・知人をクラブに誘ってみようかという気持ちを醸成することです。一人でも多くの新入会員を獲得するために、クラブ活動を行うに当たって、数が全てではありませんが、会員数の多少は重要なファクターの一つであることは間違いありません。活動の幅が広がり、奉仕・事業活動にも余裕を持って取り組みます。メンバーそれぞれが会員意識を高めて、新会員の獲得を念頭において活動しましょう。…とは言うものの、いつ終わるかも見えないこのコロナ禍の中、対面での集会、奉仕活動が制約され、交流もままなりません。一日も早いクラブの日常活動の再開を祈って止みません。

編集後記

本格的な冬です。先日までは木の葉の絨緞でしたが、今は落葉の絨緞が公園の中に敷き詰められています。気になることが一つ。お爺さん、お婆さんがせっせと公園の落ち葉を掃いているのです。ご本人たちはとても良いことをしていると信じているのでしょうが、折角の季節の賜物をそのままにせずには掃き集めてしまうのは如何なものかと、常日頃思っている私はへそ曲がりなんでしょうか。ふかふかの落ち葉の上を歩くのはとても気持ちの良いものです。(Non.O)